



西条市立西条図書館ヤングアダルトコーナーフェア案内

YAおすすめ本 2025年2月

フェアテーマ

『愛』



2月になりました。2月といえばバレンタインデー。一年で一番チョコを食べられる季節かもしれません。さて、そんな2月に、愛をテーマに家族愛、自己愛、恋愛、ペット愛等など、さまざまな愛情の形を取り上げてみました。愛情の形は人それぞれです。目に見えるものではありませんが、人類はじまって以来、愛があったからこそ繁栄してきました。愛の奥深い世界をのぞいてみてください。

書誌提供：TRC図書館流通センター 書誌情報より



西条市立西条図書館

住所：西条市大町1590

TEL0897-56-2668

開館時間9：30a.m.~20：30p.m.

2月フェア『愛』おススメ本をご紹介



『わたしたちの家は、ちょっとへんです』

岡田 依世子 偕成社 2016. 8 /913/木/

両親が離婚して、おとうさんとおばあちゃんとくらしている杏奈。親の仕事の都合で、ばあばと生活している優子。シングルマザーのママと、父親ちがいの妹とくらす志乃。ふとしたことから、なかよくなった3人だけど…。小学生女子3人の家庭の事情×友情の物語。



『それをA I と呼ぶのは無理がある』

支倉 凍砂 中央公論新社 2020.11 /913.6/木/

完璧な相棒を端末にダウンロードできたら、友達なんていない！？ でも現実の恋や夢は万能A I にも計算不能で…。生まれたときからA I に囲まれてきた「私」たちを描く青春小説。



『家族セッション』

辻 みゆき 講談社 2021.7 /913/ツ/

普通家庭に育った千鈴、お嬢様育ちの姫乃、シングルファーザー家庭の菜種。中学に進学する春、それぞれの親から「赤ちゃんのときにすり替えられていた」という衝撃の事実を知らされ…。親子の絆を描く感動の物語。



2月フェア『愛』おススメ本をご紹介



『女の子って魔法だよね』

西原 さつき 厚有出版 2020.1 /367.9/ニ/

自らの性に違和感を抱き、様々な葛藤を乗り越えて現在はテレビドラマなど多面で活躍する女優の西原さつき。「自分に魔法をかけて、なりたい自分になりたいんだよ」という思いを、イラストや写真、エッセイとともに伝える。



『猫が魔法を使うとき』

松井 雄功 幻冬舎 2014. 11 /726.5/マ/

猫が生涯をかけて愛する人に使う24の魔法。愛猫との出会いと別れのなかで、私に起きた不思議な奇跡とは？ インターネット上の「猫の国ニャンタージェン」で暮らす、実在の猫たちと、飼い主たちとの交流から生まれた本。



『魔法の箱』

ポール・グリフィン WAVE出版 2016. 11 /933/ク/

あの子はぼくに、史上最高の宝物が入っているという魔法の箱をくれた。史上最高の宝物ってなんだ？ 永遠なんて信じていない少年と、永遠を信じたい少女、そしてふたりのことを信じている犬がおこす魔法の物語。



2月フェア『愛』おススメ本をご紹介



『男子のための恋愛検定』

伏見 憲明 イースト・プレス 2012. 2 /152/7/

「恋」とは気がつけばハマっている、超ヤバいもの。それをわすらったとき自分がどういう状況に置かれるのか、先回りして客観的に知るために、恋の魔力や成分、目的、恋愛する資格、不用意な行動を避ける注意などをやさしく指南する。自分の現在の「恋愛力」を試す恋愛検定テストも収録。



『命みじかし恋せよ乙女』

中村 圭子 河出書房新社 2017. 6 /281.0/1/

平塚らいてうの運命の出会い、松井須磨子の後追い自殺、佐藤春夫の「魔女件」、藤原義江をミラノに追った藤原あき…。大正時代の恋愛事件簿を紹介する。マツオヒロミの描き下ろしイラスト3点、コラムも掲載。



『沈みかけの船より、愛をこめて』

乙一 朝日新聞出版 2022.5 /913.6/7/

破綻しかけた家庭の中で親を選択させられる子どもたちの受難と驚くべき結末を描いた表題作や、時間軸移動をくり返す「地球に磔にされた男」など全11編を収録。いくつもの顔を持つ著者による、「ひとりで四人」アンソロジー。

